

# 日本語で国際交流

## 草の根ネットワーク アジアへ 世界へ

日外協は10月6日～13日、ASEAN各国で行われた日本語スピーチ・コンテスト優秀者を日本に招へいし、国際交流を行った。

ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイの9カ国から9人が来日、企業訪問や文化交流などのプログラムを通じて日本を体験してもらった。



## 日本との架け橋に

交流の目的は、ASEANの若い世代の人たちに日本への理解をより深めてもらい、将来、日本との架け橋になってもらうこと。50年前に日外協が設立されるきっかけとなった『海外投資行動指針』の中にある「投資先国社会との協調調和」の一助にとの思いからだ。

アジアの若者が日本語を学ぶ上でモチベーションとなるように、ありのままの日本を肌で感じてもらえるように、できるだけ多くの日本人と交流を図れるように。そして日本社会や文化に対する理解を深めてもらえるように、日外協ではこの国際交流事業を1986年から実施。今回で38回目になる。

これまで400人近くを招へいし、その多くが日本での留学・就業や、母国にある日系企業への就職、後進の育成など、友好と友情のネットワークを広げている。





## 企業訪問



電子辞書を使ってみる



## カシオ計算機



## 味の素川崎工場



かつお節削りに挑戦



## パナソニックセンター東京



## 企業の方との懇談会

企業が期待する多国籍人材や、教育・採用への考え方について解説

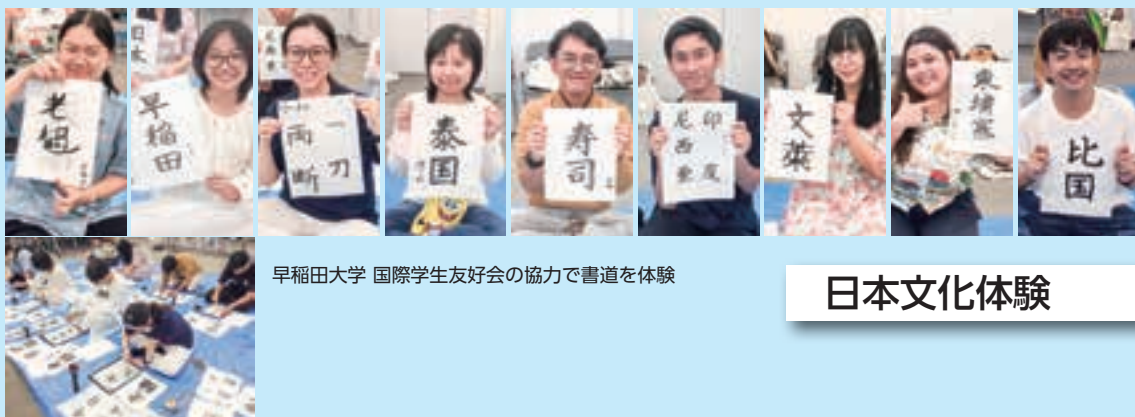


講師を務めていただいた  
川崎重工業株式会社  
人事部 大田 昌弘さん

現在、日本で働いているOBとOGも一緒にプログラムに参加、後輩たちにエールを送った

前列右から2人目ゾーイ・アガサ・セラノさん  
(2019年フィリピン代表)  
後列左から3人目がグデ・スティルタさん  
(2019年インドネシア代表)





早稲田大学 国際学生友好会の協力で書道を体験

## 日本文化体験

### 日本語講座



「一番好きな日本語は？」などの問いかけに笑顔で答える皆さん



講師の高田 薫さん  
(ヒューマンアカデミー)

### 「日本愛」のチカラ



ASEAN 日本語スピーチ・コンテスト優秀者招へい事業  
コーディネーター  
日外協 国際人事センター主幹  
上戸 道夫 (かんべ・みちお)

最初に、今年プログラムに参加してくれたASEAN各国の代表者たち、また各国で日本語スピーチ・コンテストを開催された諸団体の皆さま、加えて日本でのプログラム実行にあたってご指導、ご協力をいただいた皆さまに心より御礼を申し上げます。

今年も、ASEAN10カ国のうち9カ国から日本語スピーチ・コンテストで優勝した9人の若者を迎えた。みんなの母国語は共通せず、来日初日からコミュニケーションは日本語で

ある。しかも1週間の滞在期間に、日に日に上達していく様子を目の当たりにして、その能力の高さに心底感激した。

ASEAN地域で日本語指導をされる方に伺ったことがある。外国語の学習者数は、その言語が使われる国の経済状態に影響され増減しがちだが、日本語学習者数は日本経済とは関係なく緩やかに増加しているそうだ。この傾向は日本語学習意欲が日本への関心・あるいは「日本愛」に促されていることを示す。

そんな彼ら彼女らが、やがて日本企業との関連を強くもつ仕事に就く未来も想像される。日外協に身を置く者として、日本企業と彼ら彼女らの将来が美しくつながる一助になりたいと痛感した1週間だった。